質問回答

NO.	質問	回答
1	基金の持続可能性の分析における「複数のシミュレーション」について、2022年8月の公表試算で用いられた、過去の支出実績を基に支出額の増加率、ピーク時期、ピーク後の減少等の前提を設定し、将来の年次収支・基金残高を推計する方法を基本とし、国内外の類似制度等を参考に必要な改善を加えた上で、複数ケースを比較する想定で差し支えないでしょうか。 また、この試算に必要な既存の計算ファイル、前提条件及び基礎データ（年度別の支出額・拠出額等）と、更新に必要な最新の実績データは、環境省又は環境再生保全機構から提供いただける予定でしょうか。提供可能な資料・データの範囲、形式及び時期を御教示ください。	複数のシミュレーションの方法については、「国内外の類似制度等を参考に必要な改善を加えた上で、複数ケースを比較する」ような、方法も含めて、ご提案を頂けましたら、それも含めて評価をさせて頂きます。実際に実施頂くシミュレーションについては、ご提案も参考にしつつ、契約締結後に協議のうえ決定することを考えております。 方法の決定後、シミュレーションに必要な前提条件やデータのうち提供可能なものは環境省から提供する予定です。ご指摘頂いた2022年に行われたシミュレーションの内容を更新するのに必要となるデータは提供できる予定です。実施するシミュレーションによって、補足データの確保等が必要になる場合は、協議の上でご用意頂く場合もあります。